

京都市精神障害者 地域移行・地域定着 支援事業の概要

京都市こころの健康増進センター
京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

H30.1.18（木） 京都市精神保健福祉審議会

京都市精神障害者地域移行・ 地域定着支援事業

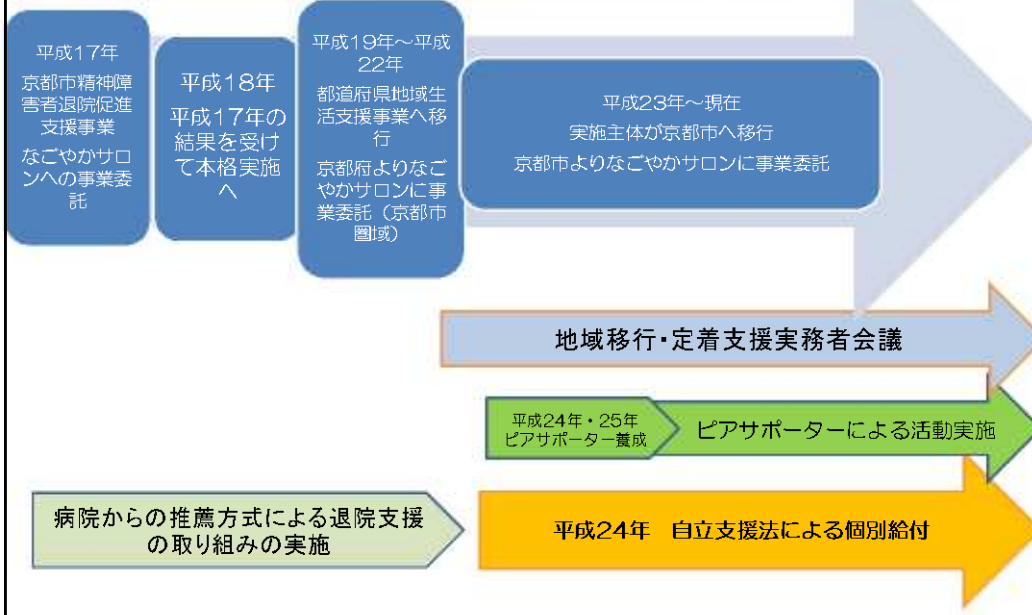
（目的）

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、関係機関の連携の下で地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進することを目的とする。

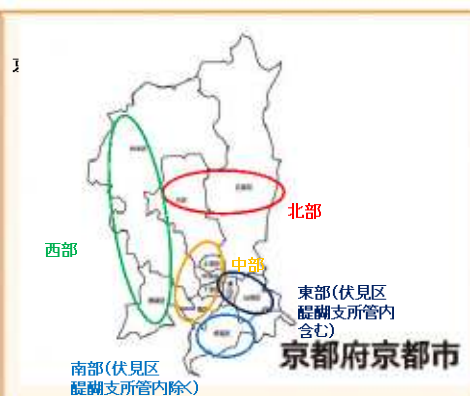
（事業内容）

- 地域移行・地域定着支援実務者会議の開催
- 地域体制整備コーディネーターの設置
 - ・普及啓発・研修会企画開催・課題への助言等
- ピアサポートの養成・活用

京都市での「地域移行・地域定着支援事業」の経過



基礎情報



取組内容

【人材育成の取り組み】

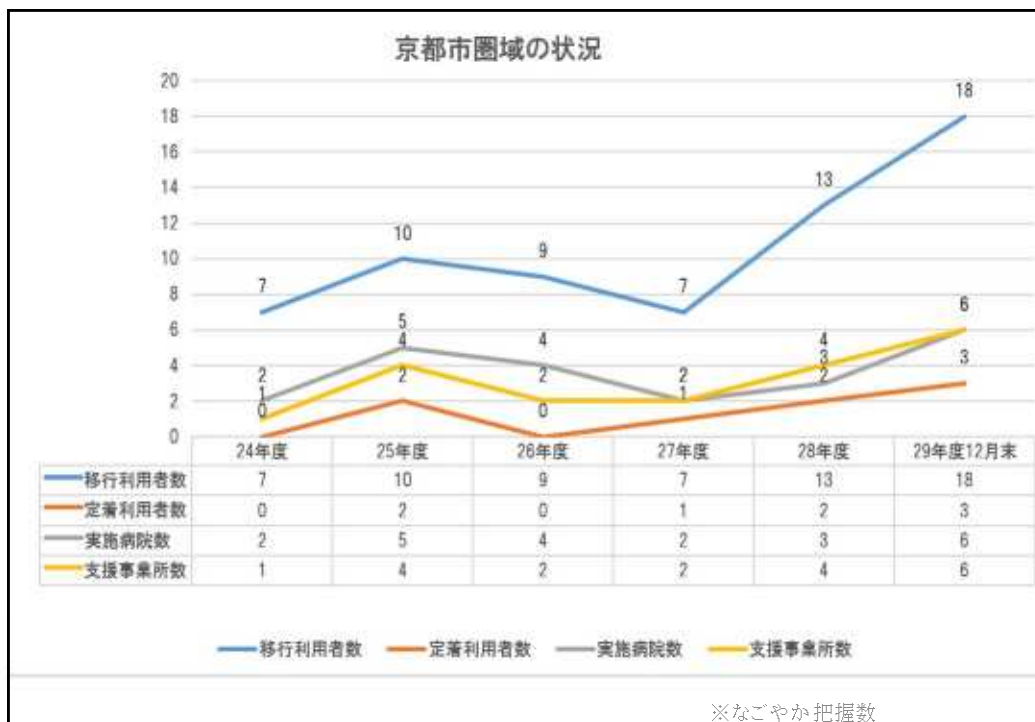
- ・地域や専門職に向けた研修や勉強会
- ・経験の浅い事業所への情報提供等

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・実務者会議を通じてのケースの共有
- ・ピアサポーターの活用
- ・パンフレットを使用しての普及啓発

障害保健福祉圏域数（29年3月末）	1カ所
市町村数（29年3月末）	1市町村
人口（29年3月1日現在推計）	1,471,482人
精神科病院の数（29年3月末）	12病院
精神科病床数（28年6月末）※	3,171床（休床除く）
入院精神障害者数（28年6月末）※	3か月未満：540人（19.4%）
	3か月以上1年未満：458人（16.4%）
	1年以上：1,786人（64.2%）
	うち65歳未満：304人
退院率（28年6月末）※	入院後3か月時点：63.4%
	入院後6か月時点：79.9%
	入院後1年時点：87.5%
	基幹相談支援センター：5
相談支援事業所数（29年1月1日）	一般相談事業所数：37（うち、地域定着支援のみの事業所2箇所）
	特定相談事業所数：189
障害福祉サービスの利用状況（29年12月末）	地域移行支援サービス：12人（精神）
保健所（29年6月）	地域定着支援サービス：25人（精神）
（自立支援）協議会の開催頻度（28年度）	1カ所（各区・支所保健福祉センター計14箇所）
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	3回/年
精神保健福祉審議会（29年3月末）	都道府県 有・無 ○カ所
	障害保健福祉圏域 有 1カ所
	市町村 有 1カ所
精神保健福祉審議会（29年3月末）	1回/年、委員数14人

※H28年度630調査



平成24度～29年度 実績

	対象者数	退院者数					翌年度 継続	退院できな かった人 (※中止による支 援終了者も含む)	備考
		自宅	アパート	グループ ホーム	その他	合計			
24年度	7	0	3	0	0	3		1	
25年度	10	0	3	0	0	3	5	2	
26年度	9	0	2	0	0	2	5	2	
27年度	7	2	1	0	0	3	3	1	
28年度	13	0	2	0	1	4	8	1	
29年度	18	1	2	2	0	5		2	

(平成29年12月31日現在)

※なごやか把握数

【地域移行・地域定着支援実務者会議】

概要

地域移行のケースの報告や会議、事例検討、研修や勉強会の企画・開催を行っている（事務局機能は支援センターなごやか）

構成団体

地域移行を行っている支援センター、地域の精神科病院、相談支援事業所、行政

開催頻度等

月1回（定例化）

参加者数

関係機関8～10機関 毎回15～20人の参加

病院見学会（26年度から実施）

平成26年度 いわくら病院
平成27年度 川越病院
平成28年度 宇治おうばく病院
平成29年度 西山病院

【①普及啓発】 事業所や病院へ事業説明を実施

●実施回数：8回 ●参加人数：822人

対象	派遣先	内容	参加人数
入院患者・医療機関	いわくら病院	11病棟での事業説明 7月11日	20名
関係機関	京都府相談支援従事者初任者研修	事業説明 8月30日	582名
入院患者・医療機関	いわくら病院	めばえの会での制度説明 9月7日	13名
関係機関	醍醐病院	事業説明 10月3日	40名
入院患者・医療機関	京都博愛会病院	事業説明 10月18日	46名
入院患者・医療機関	いわくら病院	いわくら病院めばえの会の見学会と事業説明 10月19日	8名
関係機関	京都府サービス管理責任者等研修（知的・精神）分野	事業説明 11月30日	101名
関係機関	平成29年度京都市精神保健福祉相談員資格取得講習会	事業説明 12月26日	12名

【②普及啓発】精神科病院での取り組み

◇取り組み経過

「広く病院に組み込みを行うより病院を絞って活動を行う方が効果が上がる」という前年度の研修講師からのアドバイスや病院から地域移行を進めていくための取り組みをしたいという依頼もあり実施することとなった

◇いわくら病院

地域移行支援会議

(概要)

月2回の実施を行っており、病院と地域の事業者（支援センター、相談支援事業所）での地域移行の実施に向けて検討等を重ねており、実際の事業利用者についての情報共有等も行っている。

(現状)

病院関係者との関係構築や実際の地域移行に事業利用者も会議により4名出ている。また継続して病院から直接退院の候補者についても検討出来ている。

患者合同ミーティング参加

(概要)

入院患者のミーティングに参加させていただき、顔の見える関係を構築し、ミーティング終了後には患者さんからの個別相談を行い、退院や地域生活に向けた普及の実施を行っている

(現状)

事業説明の実施も行い入院患者からの相談も実施できた。またピアサポーターも地域生活などを伝える場ともなり活動の場ともなった。

◇京都博愛会病院

地域移行の取り組みについての会議の実施を行い、院内レクへの参加や個別支援の実施、グループ活動への参加など地域移行の取り組みについて始めている

【③普及啓発】

地域等への研修や入院患者向けのパンフレットを使用しての普及啓発

- 平成27年に作成。
- 京都府下の主な精神科病院、行政機関、支援センターに配布
- 個別のケースでの関わり時に紹介資料として配布、研修会等での配布
- 次年度は制度の利用方法や退院後の生活について、さらにわかりやすいパンフレットを作成する予定。

【その他④普及啓発】

京都市自立支援協議会との連携

【南部自立支援協議会から、支援センターなごやかに協力依頼】

①南部自立支援協議会（精神部会）の地域移行支援の取り組みの中で、今年度は洛南病院退院支援プログラム（OT）に参画することになった。

（洛南病院退院支援プログラム内容）

- ・退院の意欲を取り戻すための支援
- ・9月から1回／週 ・全25回のプログラム
- ・外出，調理，事業所見学等

②醍醐病院見学会での地域移行支援事業の説明とピアサポーター体験談の講演

【取り組みへの協力内容】

- ・ピアサポーターの派遣による入院患者・病院関係者への意欲喚起等
- ・地域移行支援制度について説明

【ピアサポートの活用】

（経過）

平成24年度に5名のピアサポーターを養成。25年度には地域移行支援事業利用経験者の2名をピアサポーターとして養成した。

（現状）

- ・第二北山病院のOTプログラムに参加し、地域での生活を伝えたり、患者との交流を通して退院意欲の喚起を行っている。
- ・地域での講演や大学、研修会で精神障害者の地域生活や地域移行についての普及啓発活動を行っている。

（課題）

- ・ピアサポーターの確保（現在活動出来るピアは2～3名）
- ・活動場所の開拓

【ピアサポート（活用）】

●実施回数：26回

事業名	実施場所	ピア従事者数	内容	参加人数
普及啓発活動	第二北山病院	1人	OTプログラムでの交流（4月～12月）1回/週 合計19回	184人
	醍醐病院	1人	体験談の発表（10月3日）地域移行の支援についての説明とピアの体験談の講演	40人
	京都府洛南病院	2人	地域生活探検隊での体験談と患者との交流	19人
	相談支援初任者研修	1人	体験談とピアの活動についての発表（8月30日）	582人
	左京区総合庁舎	1人	左京区こころのふれあいネットワーク全体セミナーでの体験談発表（11月27日）	50人
	いわくら病院	2人	いわくら病院11病棟合同ミーティングでの体験談発表（12月12日）	20人
	花園大学	1人	精神保健福祉士を目指す学生に対しての体験談発表（1月13日）	12人
	いわくら病院	2人 (予定)	いわくら病院患者全体に対しての体験談発表（1月31日）	未定

【ピアサポート（フォローアップ研修会）】

●情報交換・学習会

実施回数：3回

（4回目開催：平成30年3月予定）

	内 容	参加人数
1	近況報告・自己紹介カード、通信について(6月17日)	2人
2	近況報告・養成講座について、通信について(9月16日)	3人
3	近況報告・自己紹介カード/登録用紙の確認・通信について(12月18日)	3人

【ピアサポート（新規養成）】

●養成講座

2月13日（火）、2月21日（水）実施予定

【ピアサポート養成講座開催について】

- ・活動できるピアサポーターが2～3人と少なくなっている。
- ・地域移行支援を進めるために、個別支援ピアサポーターの養成を目指す。（ピアサポーターにしかできない支援がある）

【養成講座の概要】

- ・対象者は実務者会議参加機関の推薦とする。
- ・10名程度での実施。
- ・ピアサポーター養成後のフォローアップや活動の場の拡大に向けて、実務者会議参加機関からプロジェクトチームを結成し、検討・実施を行う。

課題

- 1, 病院によって地域移行・定着支援事業の理解と実施について差がある
- 2, 地域移行・定着支援事業を実施する事業所の拡大
- 3, ピアサポーターの活動の基盤整備
- 4, 関係機関との連携について

第1回 退院を支援するピアサポーター講座

平成 29 年 12 月 27 日 発行

京都市地域移行・地域定着実務者会議では精神科病院の入院患者様の退院にむけて一緒に取り組んでくださる当事者さんを募集しています！

現在の活動例（※必ず活動が約束されているものではありません）

- 病院の OT プログラムに参加しての患者さんとの交流
- 病院や地域での体験談の発表
- 講座後のピアサポーター勉強会の参加



皆様の体験が入院患者さんの安心や、「自分もできるかもしれない」という後押しにつながります。活動にご興味がある方は是非お申込みください！

◇ 申し込みに関する要綱

ピアサポーター講座の申し込み要件

①～④すべてを満たし、推薦機関（京都市地域移行・地域定着支援実務者会議参加の支援機関）の推薦を受けている方が対象となります。

- ① 精神科病院からの退院支援にピアとして関われる方
- ② 精神科病院の入院経験がある方
- ③ 講座の全過程に出席できる方
- ④ 主治医に了解を得られている方

申込みの締切 平成 30 年 2 月 2 日(金)必着 定員 最大 10 名

申し込み方法 申込み用紙に記載の上、郵送

※受講が決定した方は申込み締め切り後 1 週間以内に本人及び推薦機関へ受講決定通知を郵送します。

◇ ピアサポーター講座の日程・内容(予定)

日 程	平成 30 年 2 月 13 日(火) 13:30 ～ 16:00 2 月 21 日(水) 13:30 ～ 16:00 ※全 2 日間
場 所	京都光彩の会 会議室（京都市地域リハビリテーション推進センター5 階）
研 修 内 容	・ピアサポーターとしての役割の理解 ・地域移行支援と社会資源等の理解 ・現在のピア活動について(ピア経験者との交流) ・演習「自分のことを話そう」(入院生活・今の生活・調子を崩した時のサイン) ・コミュニケーションの技法(傾聴)
費 用	無料

《問い合わせ・申し込み先》

京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」 電話：075-813-0503 FAX:075-813-0520
〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30 番地 京都市地域リハビリテーション推進センター1F